

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

……小島仏具店(茨城県龍ヶ崎市・牛久市)……

「資格の効果を実感しています」

伊藤孝幸氏
石井達男氏



左:石井達男氏 右:伊藤孝幸氏(小島仏具店 龍ヶ崎本店)

小島仏具店(龍ヶ崎本店・牛久店/茨城県)は、今年創業百十三年(明治三十四年創業)を迎え、新しい時代に向けて、前進を続けている。親切かつ丁寧な接客、心温まるサービスは多くの人々に親しまれてきた。現在、龍ヶ崎市の本店をはじめ、牛久店の二店舗を県内に展開、市場の拡大と顧客の創造に力を入

れる。さらに葬祭部門も設け、一般斎場と家族葬専用斎場を有し、多様化するニーズに対応。同店社長の小島勇次氏は三代目、初代で創業者の小島竹次郎氏は彫刻師で、創業者の精神と理念は同社の隅々に息づいている。今回、取材に御協力頂いた伊藤孝幸氏(龍ヶ崎本店・営業部部长)は東京出身、その後、茨城県

取手市に在住。伊藤氏は中学生の頃、父親が病気で他界。取手市内の仏壇店で仏壇を購入したが、それが伊藤氏の将来につながるきっかけとなった。高校卒業後、就職を考えていたとき、購入した仏壇店と関係の深い都内の仏壇店を紹介され就職を決意。約二十年勤務したが、三十代の時に縁あって同店に転職した。



左:店舗外観 右:都市型仏壇の展示(小島仏具店 龍ヶ崎本店)



同店で培われた経験と知識は現在の仕事に大きく役立っている。伊藤氏が受験したのは平成二十五年(第十回・東京会場)。「ID証をつけていますと、お客様からしばしば何ですかと聞かれますね」「若い方で、三、四年のキャリアでこの資格を持つていたら逆にプレッシャーを感じるんじゃないですか」「受験前はマイペースで学習しましたね」「受験会場では女性の方が多いのにはびっくりしました」などと資格に対する思いを色々語ってくれた。伊藤氏は外商をはじめ、寺院仏具の販売、葬祭部門の仕事もフォローするなど、

多忙な仕事をこなす。仕事に欠かせないのはタブレットで、自社商品の写真や概要、仕事に必要な情報をインプット、特に寺院仏具の販売では大きな効果を上げていると話す。伊藤氏と共に受験した石井達男氏(店長代理)は茨城県出身、異業種からの転職だったが、自らの努力と周囲の協力も相まって現在に至っている。仏事コーディネーター資格の活用については、名刺、新聞チラシなどでPR、少しずつではあるが消費者に浸透している。同社では今年も多くを受験希望者を募り、人材育成や教育にも活用していく予定。